

(様式2-1)

(研究課題を記入する)

民族芸術と東京

平成9年度共同研究費研究成果報告書

平成10年6月

研究代表者

森藤 秀實

(所属)

共通教育学科

平成 年度共同研究費研究成果報告書概要

1. 研究期間 昭和 年度～平成 9 年度

2. 研究課題 民族芸術と東京

3. 研究代表者

研究代表者名	所 属	職 名
近藤 秀実	多摩美術大学 共通教育学科	教授

4. 研究分担者

研究分担者名	所 属	職 名
松原 朝美	多摩美術大学 芸術学科	教授
福島 勝則	二部 芸術学科	教授
加納 豊美	" "	講師
松田 義子	共通教育学科	助教授
瀬戸 正人	写真家	

5. 研究成果の概要 (最終年度のまとめ) (600字～800字)

本研究は、1996年度から続行する共同研究の成果を、多摩美術大学上野毛校舎で開催された民族芸術学会第13回大会のテーマ「民族芸術と東京」に即して発表し、20世紀末に於ける東京が、現在どのような位置に属し、また将来どのように発展するかを、民族芸術的観点から探ることを、骨子とした。

大会のシンポジウムでは、本学の教員に加え、外部からのゲストパネリストを招いて活発な討論を行った。

続いて分科会を三箇所の会場で開催し、シンポジウムで浮かび上がる様々な問題点を個別に討論し、来聴者も参加する形で活発な論議を行った。

以上の詳細は、大会用に作製したパンフレットを参照されたい。本研究の成果は、民族芸術学会の紀要13号にも、近藤により報告が掲載されている。

なお、本研究は大会開催後も共同研究者全員の研究課題として、着々と研究は続行されつつあり、近い将来その結果が個々に、或はまとまって発表される予定である。

(様式3)

平成 9 年度共同研究費研究経過報告書

1. 研究期間 昭和 年度～平成 9 年度

2. 研究課題 民族芸術と東京

3. 研究分担者

研究分担者名	所 属	職 名
秋原朝美	多摩美術大学芸術学科	教授
福島康則	" 二部芸術学科	
加納豊美	" "	
松田美子	" 芸術教育学科	
坂戸正人	写真家	

4. 研究経費

昭和	年度	千円
昭和	年度	千円
平成	9 年度	千円
計		500 千円

5. 研究経過

1997年4月27日、28日の二日間、  
民族芸術学会大会のシンポジウム及び資料会  
その他の催し物に関して、その内容の定実、成功  
に向けて、全員の研究、発表を行った。

6. 研究成果報告者として取りまとめられない理由

7. 研究成果の取りまとめ時期(予定)

平成 年 月 頃